



3.16 *mil*

**Foreign tourists' arrived in
Cambodia in the first six months**



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

GC Orussey Market 7月 建設進捗報告

工事の全体工程において、前回報告時と同様に計画通りに進行しており、特に問題もなく順調に作業を進めております。現場スタッフ一同、安全管理を徹底しながら、引き続き工事の完了に向けて努力して参ります。







LA VISTA
ONE

La Vista One 7月 建設進捗報告



Building A

- Exterior painting of 7-41th Floor was 95% completed
- Elevators T1/T3 was installed
- The decoration of 27th floor model units was 100% completed
- Layout of showroom's furniture was scheduled

Building B

- Exterior painting of 7-41th Floor was 95% completed
- Balcony railings installation of 7-41th Floor was 100% completed
- Air conditioners installation of 10-20th Floor was 100% completed
- Ceiling installation of 10-20th Floor was 95% completed

A棟

- 7階から41階の外装塗装は95%完了いたしました。
- T1およびT3のエレベーターが設置されました。
- 27階モデルユニットの内装は100%完了いたしました。
- ショールームの家具配置が予定されております。

B棟

- 7階から41階の外装塗装は95%完了いたしました。
- 7階から41階のバルコニー手すりの設置は100%完了いたしました。
- 10階から20階のエアコン設置は100%完了いたしました。
- 10階から20階の天井設置は95%完了いたしました。





2024年07月27日

7月27日、シンガポールのショールームにて「La Vista ONE セミナー」を開催いたしました。セミナーでは、カンボジアの投資環境や経済成長についてお伝えし、La Vista ONEの魅力についても多くの情報を提供いたしました。今後も皆様にお役に立てる情報をお伝えできるよう、精進してまいります。

LA VISTA ONE
Grand Bayview @ Mekong River
Reshaping the top habitation in Phnom Penh

Welcome to Enjoy Golf by La Vista ONE

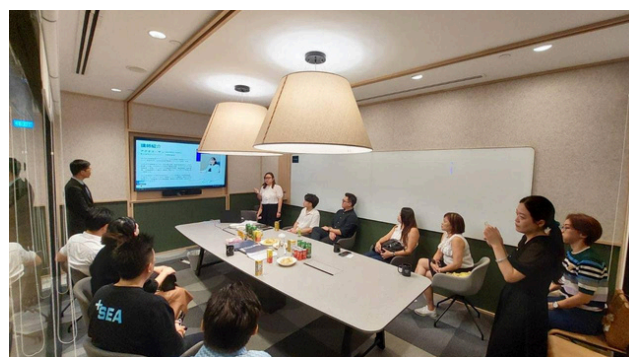
15 mins packages: Royal palace
15 mins packages: National bank, general department of customs, Cambodia bank, Vietnam capital
10 mins packages: Cambodia hospital
5 mins packages: Asian Star Vista supermarket, Lucky supermarket
5 mins packages: Noron University, Japan Sunrise hospital
30 mins packages: Garden City golf club, Moribon Techo national stadium, Garden City water park, D'island
10 mins packages: Big C supermarket, national convention center
15 mins packages: Hmart supermarket

Event Date: 2024.07.27
Singapore Time: 3:00-6:00 PM
Add: Justco - Centreport 176 Orchard Road #04-04 (Suites 4031) Centreport Shopping Centre S'pore 238843

Idea Exchange Meeting at Singapore Sales Office of La Vista One for Japan

VIP Speaker: Agnes Fan Yang (Chief Executive Officer)
VIP Speaker: Yinglan Chi (Executive Sales Director)
VIP Speaker: William Chen (BD Manager)

VIP Speaker: Investment Strategist - Japan & Southeast Asia





CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2024年07月01日

世界的に有名な会計事務所であるGrant Thorntonがカンボジアを訪問しました。Cambodia My 2nd Homeというプラットフォームは、外国企業がカンボジアをより良く理解するための貴重なリソースや機会を提供しています。この訪問を通じて、カンボジアの経済発展の動向をより包括的に理解することができるだけでなく、地元企業とのより緊密な協力関係を築くことも期待されています。





2024年07月27日

クメールホームチャリティー協会（KHCA）が支部センターを訪れ、豊富な食料や日用品など愛情が詰まった寄付を届けました。私たちは178人の無垢で恵まれない子供たちと出会い、笑顔で希望を届けました。それぞれの贈り物には未来への希望が込められており、交流を通じて絆が深まりました。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024年07月24日

カンボジア、2024年上半期の観光客数が23%増加



2024年上半期、カンボジアへの観光客数は前年同期比で23%増加しました。特に中国からの観光客が多く、アンコールワットなどの主要観光地が人気を集めています。観光客の増加は、カンボジアの経済成長と貧困削減に寄与しています。政府はさらに観光を促進するため、公共と民間部門の協力を強化し、新しい観光キャンペーンやインフラ整備を進めています。

出典：[Cambodia records 23% rise in tourist arrivals in H1](#)

2024年07月22日

カンボジア政府とJICA、5,750万ドルを投じてNR 5を改善する契約を締結

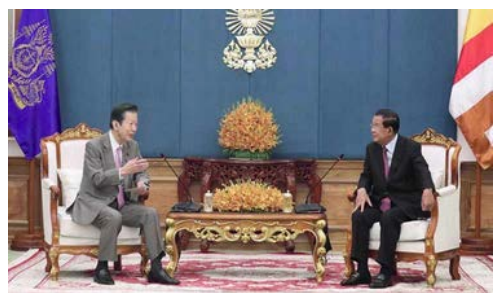


カンボジア政府と日本国際協力機構（JICA）は、国道5号線（NR 5）の改善に向けた5750万ドルの契約を締結しました。この契約には5500万ドルの融資と人材育成奨学金促進のための250万ドルの助成金が含まれています。国道5号線はプノンペンとバタンバンを結び、地域の経済活動を促進し、輸送効率を向上させることが期待されています。改善プロジェクトは交通の安全性向上や物流の効率化にも寄与する見込みです。調印式にはアウン・ポーンモンアイロス副首相が出席しました。

出典：[Govt., JICA sign \\$57.5 million deal to improve NR 5](#)

2024年07月18日

フン・セン氏、日本企業に投資拡大を要請



フン・セン上院議長は、カンボジアの経済成長を後押しする外国投資、特に日本からの投資を呼び込むため、カンボジア王国政府はビジネス環境の改善に取り組んでいると発表しました。また、日本の山口那津男上院議員の訪問がカンボジアと日本の二国間関係を強化することに期待を表明しました。カンボジアの発展における平和の重要性を強調し、カンボジアと日本の二国間関係が包括的な戦略的パートナーシップへと移行したことに満足感を示しました。

出典：[Hun Sen urges Japanese firms to step up investment](#)

2024年07月17日

政府は納税者を支援するため、特別税務監査部門を設置



出典：[The government establishes a Special Tax Audit Unit to help taxpayers](#)

カンボジア政府は、納税者を支援するために特別税務監査ユニット（STAU）を設立しました。この新しいユニットは、経済財務省の税務総局（GDT）の管理下で運営されます。STAUは、納税者の懸念を迅速かつ効率的に解決することを目的としており、監査手続きの透明性と公正性を向上させることが期待されています。この取り組みは、納税者の信頼を高め、税収の向上にも寄与することを目指しています。

2024年07月16日

カンボジア、ビエンチャンでSEOM ASEAN対話パートナー協議に参加



出典：[Cambodia joins SEOM ASEAN-Dialogue Partners Consultations in Vientiane](#)

カンボジアのロン・ケムヴィチェット国際貿易局長は、ラオスのビエンチャンで開催された上級経済官僚会議（SEOM）にカンボジア代表団を率いて出席し、ASEAN経済統合に関する進捗状況の確認、懸念事項の協議、指導を行いました。協議では、自由貿易協定の実施、交渉、国際経済協力などの問題や様々な協議や今後の会議の準備などについて取り上げられました。

2024年07月12日

フン・マネット氏、メルボルンのカンボジア商工会議所代表事務所と会談



出典：[Hun Manet meets with Cambodia Chamber of Commerce representative office in Melbourne](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、オーストラリアのメルボルンにあるカンボジア商工会議所代表事務所(CCC)に対し、農業、再生可能エネルギー、デジタル技術、教育、医療などの主要分野におけるカンボジアのビジネスチャンスと投資を探るよう促しました。また、ビジネスや貿易の機会を促進するため、カンボジアの省庁や機関との協力を呼びかけました。CCCがメルボルンとシドニーに設立されたことは、カンボジアとオーストラリアのビジネスと商業を結ぶ一歩前進と見られています。

2024年07月10日

トヨタ、カンボジアにトレーニングアカデミーを設立



出典：[Toyota to set up training academy in Cambodia](#)

豊田通商マニュファクチャリング(カンボジア)社は、カンボジアに自動車予備部品と付属品の生産を中心とした自動車訓練学校を設立する予定です。これは、2024年5月にプノンペン経済特区で新たにオープンしたトヨタの組立工場に続くものです。同社の藤津亮丞取締役がこの構想を平和宮殿を表敬訪問した際に、カンボジア首相フン・マネット氏に伝えました。首相は、労働職業訓練省と協力し、訓練校の設立とビジネスモデルの詳細を詰めるよう指示しました。この訓練校は、カンボジアの若者に対する包括的な訓練プログラムを提供し、自動車業界での就職機会を広げることを目的としています。

2024年07月10日

日本、プノンペンの発電プロジェクトに5,000万ドルを提供



出典：[Japan to provide \\$50M for Phnom Penh power project](#)

日本政府は、カンボジアに対する1億300万ドルを超える追加金融パッケージの一環として、プノンペン市送配電システム拡張プロジェクトに80億円（5000万ドル）を融資することに合意しました。このプロジェクトは、新しい変電所、送電線、配電線、施設を提供することにより、プノンペンにおける電力供給の安定性を高め、カンボジアの持続可能な経済成長に貢献することを目的としています。今回の発表は、ソク・チェンダ・ソフィア副首相と来日中の上川陽子外務大臣との会談後に行われました。

2024年07月09日

カンボジアへの投資機会を促進し続けるフランス語圏雇用主同盟



出典：[Alliance of French-Speaking Employers to continue promoting investment opportunities in Cambodia](#)

フランス語圏雇用主連合（APF）は、フランス語圏の投資家とともにカンボジアへの投資機会を促進することを約束しました。APFのジョフロワ・ルー・ド・ベジュー会長はカンボジアを訪問し、フン・マネット首相と会談し、2026年のフランコフォニー・サミット開催地としてのカンボジア立候補に対するフランスの支持を改めて表明しました。カンボジアのフン・マネット首相は、両国の強固な関係と、カンボジアの投資環境に対するフランスの投資家の信頼を高く評価しました。

2024年07月08日

カンボジアとフランス、貿易と教育に関する2つのMoUを交換



出典：[Cambodia and France exchange two MoUs on trade and education](#)

カンボジアのフン・マネット首相がフランス・カンボジアビジネスフォーラムの開会式を主宰し、貿易と教育に関する二つの覚書（MoU）を締結しました。最初のMoUは、カンボジア商工会議所と在カンボジアフランス商工会議所の間で交換され、カンボジアとフランス企業間の貿易と投資の促進を目的としています。二つ目のMoUは、プティーストラ大学と在カンボジアフランス商工会議所の間で締結され、健康教育と訓練の支援に焦点を当てています。これらの協定は、両国の関係を強化し、新たな機会を創出することが期待されています。

2024年07月08日

カンボジアと日本、経済協力の拡大で合意



出典：[Cambodia, Japan agree to widen economic cooperation \(VIDEO\)](#)

カンボジアと日本は、7月7日、インフラ、海洋空間、経済開発に関する協力強化に合意しました。両国はシアヌークビル自治港の設計・開発に参加し、日本の投資を誘致しています。フン・マネット首相は日本の上川陽子外務大臣を歓迎し、カンボジアの社会経済発展に対する日本の支援に感謝の意を表明しました。両首脳は、経済協力をさらに強化し、日本の投資を誘致する方法について話し合いました。両国の関係は、2023年に包括的戦略的パートナーシップに格上げされて以来、新たな高みに達しています。

2024年07月03日

カンボジア、GDPの再基準化を発表

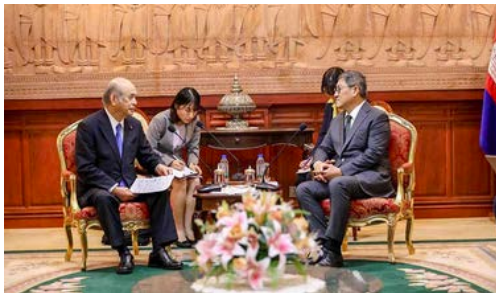


出典：[Cambodia announces GDP rebasing](#)

カンボジアは政府、2008年に国連統計局の国民経済計算システムによって設定された国際基準に合わせ、GDPの基準年を2000年から2014年に変更しました。この再基準化は、経済構造の変化をより正確に反映するため、特に農業からサービス業や製造業へのシフトが顕著です。新たなGDP計算は国際標準に準拠し、国際通貨基金（IMF）や世界銀行などと協力して行われました。2022年の新しいGDPは160.1兆リエル（約395億ドル）となり、一人当たりの所得は2,345ドルに増加しました。

2024年07月02日

カンボジアと日本、投資協力の強化を約束



出典：[Cambodia, Japan committed to enhance investment cooperation](#)

外務・国際協力省（MFAIC）と日本の外務省（MOFA）は、カンボジアにおける包括的戦略的パートナーシップ（CSP）を強化し、協力を促進し、日本のビジネスマンを誘致することに合意しました。MFAICのソク・チェンダ・ソフィア副首相と外務省の柘植芳文国務大臣との会談では、人材育成の重要性、日本政府の支援、持続可能な成長に向けたカンボジアのビジョンが強調されました。双方は、CSPの実施に向けたコミットメントを再確認しました。

2024年07月02日

カンボジアを探索する英国の投資家を奨励



出典：[UK investors encouraged to explore Cambodia](#)

急速に発展するカンボジアは、ASEAN市場へのゲートウェイとしての可能性を探るよう、英国から強く求められています。在カンボジア英国大使館とKPMG Companyが共催したカンボジア・英国投資貿易会議には、約100名の代表団が参加しました。ソク・シパナ氏率いるカンボジア代表団は、カンボジアの戦略的立地、競争力のある若い労働力、政治的・経済的安定性、持続可能な投資体制、魅力的なインセンティブ・パッケージを強調しました。投資の優先分野は、自動車、エレクトロニクス、農業、インフラ、観光、健康、グリーンエネルギーなどです。

2024年07月01日

カンボジア、観光マーケティング・プロモーション委員会を発足



出典：[Cambodia launches tourism marketing, promotion board](#)

カンボジアは、ソク・ソーケン観光大臣が率いる観光マーケティング・プロモーション委員会を発足させ、同国の観光部門を国際市場にアピールしています。15の機関で構成されるこの委員会は、官民のパートナーシップを強化し、カンボジアの魅力と競争力を促進することを目的としています。同委員会は、観光部門の課題に対する全体的な解決策を見出すことに尽力し、カンボジア政府との民間部門の協力に取り組んでいます。

2024年07月01日

マレーシアの駐カンボジア大使、マレーシア企業の重要な役割を称賛



出典：[Ambassador commends prominent role of Malaysian businesses \(VIDEO\)](#)

6月28日、マレーシアのシャハルディン・オン駐カンボジア大使は、カンボジアにおけるマレーシア企業の重要な役割を称賛しました。オン大使は、マレーシアビジネス協議会（MBCC）の年次晩餐会で、両国の経済関係強化を約束し、CSR活動を含むマレーシア企業の貢献を高く評価しました。また、MBCCの役割を強調し、今後の両国間の経済協力の拡大を期待していると発言しました。

2024年06月29日

ロイヤルグループ・プノンペン経済特区、グリーンボンド上場により約1000万ドルを調達



出典：[Royal Group Phnom Penh SEZ raises nearly \\$10 Million from Green Bond listing](#)

Royal Group Phnom Penh SEZ Plcは、カンボジア証券市場（CSX）でのグリーンボンド上場により996万ドルの資金を調達し、廃水処理プラントとそのインフラを建設しました。「PPSPグリーンボンド」と名付けられたこの債券は、信用保証投資機構(CGIF)による公的保証債で、償還期間は5年、クーポンレートは年率*SOFR+1.5%であります。同社は、潜在的な投資家に経済圏への投資を呼びかけ、証券市場の発展に参加することを目指しています。

*SOFRとは、Secured Overnight Financing Rate（担保付き翌日物調達金利）の略で、米ドル建ての短期金利ベンチマークです。

2024年06月28日

新カンボジア政府は世界的混乱の中でマクロ経済の安定を達成



出典：[New Royal Government achieves macroeconomic stability amid global turmoil](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、6月27日、同国には75万を超える中小企業があり、過去10ヶ月間マクロ経済の安定を維持してきたと発表しました。同首相は、経済がCOVID以前の水準に完全には回復していないことを認めたが、平和と社会の安定を確保し、石油と電力価格をコントロールし、エネルギーと消費のバランスをとるという王室政府のコミットメントを強調しました。世界経済危機がもたらした課題にもかかわらず、カンボジア経済は回復しつつあり、適切な政策がなければ、マクロ経済のバランスを失う危険性があります。

2024年06月28日

BYD、カンボジアに自動車組立工場を設立へ



出典：[BYD intends to open automotive assembly factory in Cambodia](#)

カンボジアのフン・マネ首相は、中国の多国籍製造企業であるBYDが同国に自動車組立工場を開設する計画を発表しました。これは、既存のフォードとトヨタの工場に加えてのことです。首相は、カンボジアの発展における民間セクターの重要性を強調し、政府への積極的な参加と協力を呼びかけました。

2024年06月28日

首相、MSMEは政府の最優先課題だと発言



出典：[PM says MSMEs a top priority for government](#)

カンボジアのフン・マネ首相は、同国における零細・中小企業（MSME）の役割を賞賛し、政府の優先目標の第2位にランク付けしました。同首相は、MSMEの改善に注力する理由として、憲法と政府がすべての国民を養うことができないことを挙げました。第1回全国中小企業の日2024は、環境に配慮した事業運営を促進し、持続可能な貿易プラットフォームを構築することを目的としています。

2024年06月28日

シアヌークビルへの投資手続き簡素化推進



出典：[Move to streamline procedures for Sihanoukville investments](#)

カンボジア政府は、シアヌークビルへの投資促進を目的として、特別なインセンティブプログラムを導入しました。今年1月に開始されたこのプログラムでは、既に41件のプロジェクトがインセンティブを受ける資格を得ています。主な内容には、未完の建物の完成を支援するための税制優遇措置や、簡素化された許可手続きが含まれます。この取り組みは、観光潜在力を高め、経済成長を促進することを目的としています。

2024年06月27日

日本、カンボジアの港湾整備を支援



出典：[Japan to support capacity building in Cambodia's ports](#)

6月26日、日本はカンボジアの港湾整備の取り組みを再確認しました。港湾管理能力向上プロジェクトの第3回調整委員会会合では、国内の内陸港の開発が議論されました。カンボジアには103の港があり、そのうち77は河川港です。内陸水路網は、カンボジアとベトナム間の国境を越えた水路輸送を含む船舶の交通を促進しています。プノンペン自治港（PPAP）はカンボジア最大の河川港で、大型船の受け入れが可能です。PPAPの収益は2024年第1四半期に6.78%増加しました。

2024年06月26日

カンボジア、開発援助受取額でASEAN6位に



出典：[Cambodia comes sixth in ASEAN in development aid with \\$27.1B](#)

ロウイ研究所の東南アジア援助マップによると、カンボジアは東南アジアに対する国際開発資金のうち、わずか7%しか受け取っていません。国際的なパートナーが約束する金額と実際に提供される金額の間には大きなギャップがあり、14,986のプロジェクトに対して271億ドルが約束されているものの、実際に支出されたのは177億ドルにとどまっています。カンボジアへの公式開発資金は2022年に30%減少し、23億ドルとなり、これは東南アジア全体の傾向を反映しています。カンボジア経済は依然としてパンデミック前の水準を下回っており、インド・日本・韓国などの地域大国が援助を強化している中、カンボジアの開発パートナーの拡大が期待されています。

2024年06月26日

バケン水処理施設に6億6,000万ドルを費やし、首都の水供給を強化



出典：[\\$660M Bakheng plant bolsters capital's water supply](#)

カンボジア政府は、プノンペンと近郊のタクマオ市で増大する浄水の需要に対応するため、バケン水処理施設に6億6,000万ドルを投資しました。プロジェクトは3段階に分かれており、そのうち2段階がすでに稼働しています。これにより、プノンペン水供給庁（PPWSA）は1日あたり98万2,000立方メートルの水を供給できるようになりました。第3段階は2027年第3四半期に完成予定で、この施設が完成すると、PPWSAの総供給能力は1日あたり約120万立方メートルに達する見込みです。

2024年06月26日

カンボジア経済財政省、公共財政の効率性向上強化へ

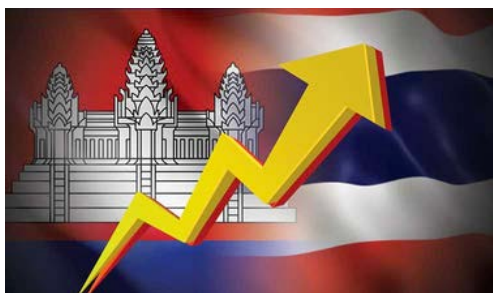


カンボジアの経済財政省（MEF）と開発パートナーは、公共財政の効率性と持続可能性を向上させるために、歳入徴収戦略、非課税収入管理改革、および国有財産管理方針の実施状況を見直しました。この決定は、2024年第1四半期の公共財政管理改革プログラム（PFMRR）第4フェーズの会議で行われました。PFMRRの実施は順調に進んでおり、計画通りに進捗しています。カンボジア王国政府（RGC）は、財政の持続可能性を確保し経済成長を促進するために、2025-2027年の中期財政フレームワーク（MTFF）を承認しました。

出典：[MEF to step up public financial efficiency](#)

2024年06月25日

カンボジアとタイの貿易、最初の5ヶ月で17億ドルを突破



2023年の最初の5ヶ月間で、カンボジアとタイの二国間貿易額は17億ドルを超え、前年同期比で1.73%増加しました。カンボジアからタイへの輸出額は3億9100万ドルで18.43%減少しましたが、タイからの輸入額は13億4200万ドルに上りました。タイはカンボジアにとってASEANで2番目に大きな貿易相手国であり、2023年の総貿易額は37億1000万ドルに達しました。両国は戦略的パートナーシップを2024年2月に締結しました。

出典：[Cambodia-Thailand trade surpasses \\$1.7 billion in first five months](#)

2024年06月24日

カンボジアと米国、経済および投資協力の強化を継続



カンボジア開発評議会（CDC）の第一副議長で副首相のスン・チャントールは、アンドリュー・ハープ臨時代理大使と会談し、二国間貿易と投資の強化の重要性を強調しました。ハープ大使は、米国の投資家が抱く懸念に対処し、より魅力的な環境を促進するために協力することを提案し、チャントール副首相は、現地生産・サプライチェーンを拡大しようとする企業によるビジネスフォーラムや個別訪問を通じて、米国での投資をする可能性についても言及しました。

出典：[Cambodia and, US continue to strengthen economic and investment cooperation](#)

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

